

居酒屋が定置漁開始

東京のゲイト 当面、市場に全量水揚げ

東京都内で居酒屋など

を営むゲイト（五月女圭

一社長）が三重県外湾漁

協の小型定置網の漁業権

を同県尾鷲市内で取得

し、20日に初漁を行った。

シマアジ、アオリイカ、

ホウボウ、ヒラメなどを

活気あふれる船上（ゲイト提供）



漁獲。現地の水産加工場

や東京への物流網も持つ

同社だが、漁獲物は並面、

尾鷲市内の市場に全量を

水揚げし、操業ノウハウ

の蓄積に専念する方針。

「脱・薄利多売、付加価値化で『生産者ファースト』の業態を目指す」（同社）

漁場は漁業者不足で3

年間操業できていなかった

場所。網や船は真内他

地域の中古品を使う。

「同様の『居抜き』形態で漁網を増やすことも考えている」と同社。

同社は「薄利多売による漁業の疲弊や漁業者の減少、漁村の衰退を何とかしたい。産地と消費地が理解し合うための懸け橋となり『生産者ファースト』な飲食業態を目指す」と説明。大切なのは「目先の水揚量でなく付加価値化。締め方の改良、未利用魚種の活用などで価値を高める。仲買さんの買わないような魚種も、販売先を持つ当社なら扱いやすい」とし、将来的には、自社居酒屋での提供・ブランド化だけでなく、「思いに共感してくださる方への販売も考えている」という。